

お客様各位

令和4年10月吉日  
YSタンク株式会社T-316E (UN-R34 対応品) 取付け時のご注意

拝啓、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
日頃は弊社製品に対し格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、首題の件、UN-R34 対応の 250L燃料タンク「T-316E」を取付ける場合は従来品である「T-316Y」に対し以下の仕様を変更しておりますので注意くださいます様お願い申し上げます。  
(特に「T-316Y」から「T-316E」の載せ替えの場合は注意をお願いいたします)  
今後とも弊社製燃料タンクをご愛顧賜りまよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

## 記

## 1. 「T-316E」の「T-316Y」からの変更箇所 (UN-R34 への適用箇所は除く) …… 添付図 1 参照

	「T-316E」(UN-R34 対応品)	「T-316Y」(従来品)
① 給油口の取付け位置 <sup>※1</sup>	長手方向中心より右側に 95mm	長手方向中心より左側に 95mm
② スターの取付け間隔	650mm	730mm
③ 吸込み、戻りパイプ <sup>※2</sup>	長手方向中心より右側に配置	長手方向中心より左側に配置
④ ユニットゲージ取付け座 <sup>※2</sup>	長手方向中心より左側に配置	長手方向中心より右側に配置
⑤ ドレンプラグ位置 <sup>※2</sup>	長手方向中心より右側に配置	長手方向中心より左側に配置

<sup>※1</sup> 「T-316」型以外の型式の燃料タンクは給油口の取付け位置の変更はございません。

<sup>※2</sup> ③～⑤は①の給油口取付け位置の移動に伴う変更です。

## 2. 仕様変更の理由

## ① 給油口の取付け位置

弊社燃料サブタンクの給油口の取付け位置は長手方向の中心より右側を標準としており、「T-316Y」(従来品)のみ左側に配置した仕様でした。

今回 UN-R34 の認可取得に際して、31 型のシリーズ(T-314E、T-316E、T-318E)として認可を受けるために主力型式である「T-318E」の仕様に合わせました。

## ② スターの取付け間隔

T-316Y(従来品)の販売を開始して以降車両側の仕様も変わってきており、取付け性を向上させるために 50mm の倍数とし、主力型式の「T-318E」に合わせました。

## 3. 「T-316E」取付け時のご注意

「T-316E」の取付けに際しましては上記及び UN-R34 対応品の注意事項をご確認の上、取付けて頂きますようお願いいたします。

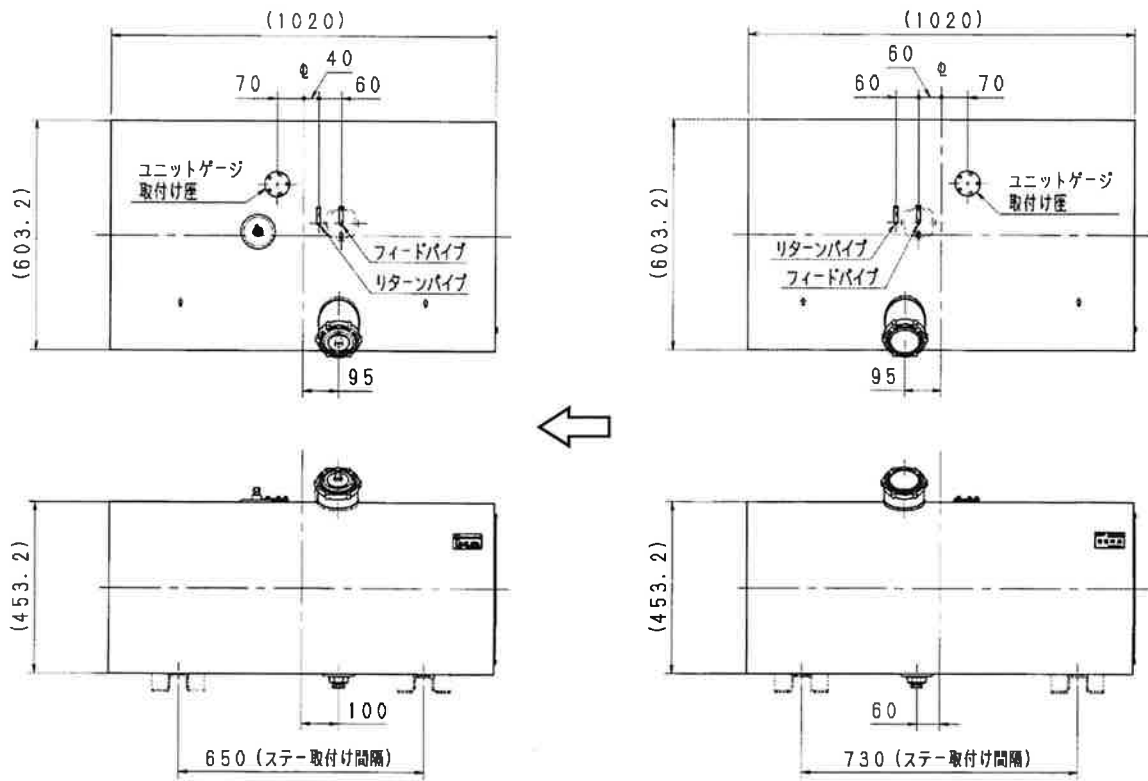
特に「T-316Y」(従来品)からの載せ替えにつきましてはスター間隔の互換性は無く、給油口の移動により上物架装物と干渉する恐れがあります。

また、「T-316E」の給油口内にはフラップが装着されています。上物架装物の状態によっては給油ノズルの挿入がやや制限され給油が困難となる場合がありますので、この辺りも十分注意して下さいますようお願いいたします。

なお、載せ替えに際して「T-316E」では対応できない場合は、「T-316Y」(従来品)も受注生産ではございますが対応させていただいておりますので、弊社までご相談願います。

以上

図1 「T-316E」(UN-R34 対応品)と「T-316Y」(従来品)の相違箇所



「T-316E」(UN-R34 対応品)

「T-316Y」(従来品)